



地域おこし協力隊
佐治達也さん

竹田 陶芸家としては、昨年、河北工芸展に入選したので、今年は必ず入賞します（笑）。地域おこし協力隊としては、4月に「おもしろい市場」がオープンする予定です。行政や民間企業、市民の方々をつないで、賑わいの場に来たならと考えています。そのためにも、これまで培った営業力と陶芸家の発想力をこれからも生かしていきたいと思っています。

あるそうです。祭りがあるというのは、地域に文化があるということ、祭りを大切にしているという氣質が、魅力ある地域として選ばれていると聞きました。皆さんにも、ぜひ白石の祭りに参画していただきたいと思っています。

小野寺 福井県越前市で協力隊を3年間やってきました。地域に魅力的な場所を増やしたり、空き家を活用したりする手法を学んできましたので、これまでの経験を生かせるなと思っています。それ以上には思うことは、住民としてこれから住み続けていくということ

竹田 生産と販売は車の両輪。その二つをしっかりと回してこそ、プロジェクトは成り立つと思っています。大阪の実家でもササニシキを注文してくれていて、姪がパクパク食べてくれるんですよ。やはり小さい子は、おいしいものが本能的に分かる。農家さんに、その話をすると喜んでくれます。農家さんには、おいしい米作りに励んでもらい、私は、そのお米のおいしさをたくさんの人たちに伝えたいです。



地域おこし協力隊
小野寺康浩さん

を、自分の中で具体的にイメージして、仕事としてだけではなく一人の人間として、住民の皆さんと接していくことのほうが重要だと思っています。いろいろな人のいろいろな考え方があって、それに寄り添いながら伴走して進めていくということを大切に考えていきたいと思っています。

プロ 以前に島根県海士町に住んでいたこともあって、知らない土地に住むことの大変さや、地域の人とのつながりの大切さを、体験として今の仕事に生かしていると思います。白石への移住に興味を持ってくださる方に、この経験をもとに話ができることは強みだと思っています。



▲住民とのコミュニケーションを大切に活動する小野寺さん



▲昨年5月3日にオープンした移住交流サポートセンター「109-one」（東小路）

小野寺 とにかくおもしろい人とはどんなつながりかと思っています。いろいろな人とつながりながら白石の魅力を発信することで、外部の人が白石に興味を持ってもらえる。そうやって訪れる人が増えればプラスの効果が出ると思っています。その上で、思いを持っていて人、何かをした人に私が伴走してそれを具現化しようサポートしていきたいと思っています。

具体的には、飲食店を開業したいという方がいるので、開業をサポートしていきたいです。小さいことかもしませんが、一つ一つ思いに寄り添って具現化していければと思っています。

移住者から見た白石

竹田 私はコーヒーが大好きなので、仕事終わりに一息つけるようなお店が増えたらうれしいです。そこは、小野寺くんが、カフェをやりたい方を応援して、白石にお店を開いてもらえたら、毎日でも行きますよ（笑）。

白石の魅力は、身近に「水」があることです。蔵王からの伏流水があり、梅花藻が育つ沢端川が町中を流れている。地元の人から片平観平さんの話を聞き、先人の努力があるからこそ、いまの白石があると思えました。米作りにも水は不可欠！白石の水に関する歴史をうまくリンクできれば、まちづくりの強みとなり、おもしろいですよね。

プロ 風が強い！しょっちゅう風が吹いているなと…（笑）。

それから、白石の良さは、移住定住フェアで必ず話をしていただのですが、アクセスがしやすい。インターチェンジがあったり、在来線や新幹線の駅があったり、休日にはすぐに外に出られるし、友達も来やすいですね。私も休日は家族とフットワーク軽くあちこち出掛けています。

佐治 市内外を問わず、1人でも多くの人に会うことを目標にしています。白石市と近隣の市町をつなぐことでこのエリア一帯が元気になればと考えています。

プロ 現在、白石に興味があつて移住したいと思っている方が2組います。その人たちにとってより良いゴールを一緒に考えていきたいです。あとは、協力隊と一緒にいろいろなアイデアを出し合って実行したいと思っています。

市民の皆さんとともに
新たな人の流れを！

市長 私は、何でも本気でやれば結果は付いてくると思っています。努力のないところに成果はないと思いますし、良い結果は、それなりの準備とチャレンジがあるからこそ付いてくるものだと思います。以前、「生き残るのは力の強いものでもない。賢いものでもない。さまざまな状況に柔軟に対応できるものが生き残る」という言葉を聞いたことがあります。

人口減少の進展や住民ニーズの多様化など変化の時代にあつて、今までのやり方が今後も通用する



移住交流
コーディネーター
プロ望美さん

2019年にかける思いを
聞かせてください

市長 本市は、これまで定住人口そして交流人口の拡大をテーマに掲げてさまざまな施策を展開していますが、私は「関係人口」も増やしていきたいと思うんです。白石に何らかの形で関わってもらえる方を増やしていきたい。今春オープンする予定の「おもしろい市場」は、関係人口を拡大するための大きなツールになると思っています。

また、県の関係者などの話を聞くと、都会の方が移住をするときのポイントとして、例えば新幹線の駅があることや、便利であることのほかに、なるほどと思ったのは、「祭りがある」ということが

という保証はまったくありません。その時その時の変化に柔軟に対応できる柔軟さを持つことが、これからの時代は非常に重要だと思っています。その柔軟さもさまざまな経験があればこそです。私はこの2019年、さまざまなものに積極果敢にチャレンジしていきたいと思っています。皆さんは、地元にいると気付かない白石の良さを知っています。白石市が活性化するように、アイデアや魅力の発信を積極的に行っていただきますようお願いいたします。



▲今年も市民の皆さんにとって良い年になりますように！